

Agentic AI 管理ポータル操作ガイド (Tool設定編)

はじめに

本書は、本サービスのシステム管理者が利用するAgentic AI 管理ポータルの利用方法について記載したガイドです。

本書の対象読者は以下を想定しています。

- 本サービスを利用する、お客様のシステム管理者
- 本サービスを利用する、システムの運用構築を支援するSI担当者

Agentic AI 管理ポータルでできること

Agentic AI 管理ポータルは、下記機能を提供します。
本書では★の付いている機能について説明します。

- Agentic AI 管理ポータルへのログイン
- Agentic AI for Searchで使用するToolの設定 (★)

Tool

Toolとは

Toolは、Agentic AI for Searchがユーザのリクエスト(プロンプト)を解釈して回答に必要な能力を判断し、回答のための情報を取得するのに使われます。具体的には、Agentic AI for Searchの場合、RAGを実施する”ElasticsearchTool”と、Web検索を実施する”WebSearchTool”の2種類がToolとして存在します。

Toolの設定

Tool設定画面では、Toolの一覧表示・編集機能を提供します。

画面説明

以下にTool設定画面の例を掲載します。

Tool一覧

<input type="checkbox"/>	Tool名	description	種別	有効	編集
<input type="checkbox"/>	WebSearchTool	Web APIを使用してウェブ検索を実行し、インターネット上の最新情報を収集す...	builtin		
<input type="checkbox"/>	ElasticsearchTool	インデックスに登録されたドキュメントをベクトル検索し、RAG（検索拡張生...	builtin	✓	

Rows per page: 10 1-2 of 2 < >

セクション

Tool設定画面のセクションについて説明します。

Tool一覧

<input type="checkbox"/>	Tool名	description	種別	有効	編集
<input type="checkbox"/>	WebSearchTool	Web APIを使用してウェブ検索を実行し、インターネット上の最新情報を収集す...	builtin		
<input type="checkbox"/>	ElasticsearchTool	インデックスに登録されたドキュメントをベクトル検索し、RAG（検索拡張生...	builtin	✓	

Rows per page: 10 1-2 of 2 < >

Tool一覧

Tool一覧では、すでに登録されているToolの設定状況を確認することができます。

項目	内容
Tool名	Agentic AI for Searchで使用可能なToolのTool名が表示されます。
description	Toolの説明を表示します。
種別	Toolの種別を表示します。 ※builtinは、Agentic AI for Searchに組み込まれているToolを指します。
有効	Agentic AI for SearchのTool選択時に有効にする(選択する)かを表示します。

操作

Tool設定画面にて行える操作を説明します。

項番は、セクション説明上の①などに対応します。

項番	項目	内容
①	操作 ボタン	チェックボックスにチェックを入れたToolを一括で有効化・無効化を行います。
②	編集 ボタン	Toolの設定の編集を行います。 ボタン押下時にTool編集画面を表示します。 詳細は、Tool編集のセクションを参照してください。

Tool編集

Tool編集画面では、Toolのdescriptionや有効化などの編集を行います。

画面説明

以下にTool編集画面の例を掲載します。

各項目の内容は以下の通りです。

項目	項目の説明	必須 ※	初期表示内容
Agentic AIのTool選択時に有効にする	Agentic AI for SearchのTool選択時に有効にする(選択する)かを編集します。	×	編集対象のToolの有効化情報

Tool名	Tool名は編集することができません。	×	編集対象のTool名
description	Toolの説明を編集します。 Agentic AI for Searchがユーザのリクエスト(プロンプト)を解釈し、適切なToolの選択を判断するために使用されます。	○	編集対象のToolのdescription (ElasticsearchToolの場合：「インデックスに登録されたドキュメントをベクトル検索し、RAG（検索拡張生成）の仕組みで質問に回答することができます。」 WebSearchToolの場合：「Web APIを使用してウェブ検索を実行し、インターネット上の最新情報を収集することができます。」が初期値になります。)

操作

Tool編集画面にて行える操作について説明します。

項番	項目	内容
①	キャンセル ボタン	キャンセル ボタン押下時、Tool設定を保存せずにTool一覧画面へ遷移します。 入力されている内容は破棄されます。
②	保存 ボタン	保存 ボタン押下時、Tool設定を保存します。 ※各項目の入力条件を満たす場合のみ保存ボタンを押下できます。

ElasticsearchTool

ElasticsearchToolとは

ElasticsearchToolはAgentic AI for SearchがRAGを実施する際に利用されるToolです。ElasticsearchToolを有効にすると、ユーザのリクエスト(プロンプト)を解釈し、ベクトル検索を行いRAGを実施するかをAgentic AI for Searchが判断します。※ElasticsearchToolはデフォルトで有効です。

ElasticsearchTool内では、検索対象となるすべてのインデックスの中からベクトル検索を実施し、ベクトル検索の結果を元にRAGの処理を行います。

Agentic AI 管理ポータルでは、Agentic AI for Search機能のElasticsearchToolを適切に利用選択させるために必要な情報の設定を行います。

ElasticsearchToolは以下のインデックスを検索対象とします。

- ・ログインユーザに権限が付与されたインデックス
- ・ログインユーザが所属するグループ(ALL USERS GROUP含む)に権限が付与されたインデックス

インデックスの作成方法は管理ポータル操作ガイド（インデックス・文書管理編）を参照してください。グループについては管理ポータル操作ガイド（グループ機能編）を参照してください。

ElasticsearchToolの編集

ElasticsearchToolのdescriptionには、ベクトル検索を行うかどうかの実施判断に用いられる説明を入力します。

最大300文字程度までを推奨します。

例) 「インデックスに登録されたドキュメントをベクトル検索し、RAG（検索拡張生成）の仕組みで質問に回答することができます。インデックスには、情報の一元管理と利便性の向上を目指すために事業計画書、契約書類、製品マニュアル、営業資料、マーケティング資料、業務フロー手順書、研修資料、社内報告書、会議議事録、知的財産関連書類など各種文書を格納しています。」

注意

- ・ElasticsearchToolを利用する場合のインデックスの数は10以下が目安となります。それを超えたインデックスが存在しても問題はありますが、ElasticsearchToolの検索や回答精度が落ちる可能性があります。

WebSearchTool

WebSearchToolとは

WebSearchToolはAgentic AI for SearchがWeb検索を実施する際に利用されるToolです。

WebSearchToolを有効にすると、ユーザのリクエスト(プロンプト)を解釈し、Web APIを使用してWeb検索を行うかをAgentic AI for Searchが判断します。

※WebSearchToolはデフォルトでは無効になっています。Brave SearchかTavilyのAPIキーを取得し、Tool編集画面からToolの有効化とAPIキーの登録が必要です。

WebSearchToolの編集

以下にWebSearchToolの編集画面の例を掲載します。

Tool編集

Agentic AIのTool選択時に有効にする

Tool名 *
WebSearchTool

description *
Web APIを使用してウェブ検索を実行し、インターネット上の最新情報を収集することができます。

48文字

SearchEngine

Select
Brave Search APIキー

キャンセル

保存

WebSearchToolの場合、Tool編集画面に下記項目が追加で表示されます。

項目	項目の説明	必須 ※	初期表示内容
SearchEngine	WebSearchToolで使用する SearchEngine(Brave Search or Tavily)の選択と、選択したSearchEngineで使用するAPIキー	○ (Toolの有効化にチェックがある場合)	なし

WebSearchToolを有効化する場合は、事前にBrave SearchかTavilyのAPIキーを取得後、Tool編集画面から「Agentic AIのTool選択時に有効にする」にチェックを入れ、SearchEngineの選択と取得したAPIキーを入力し保存してください。